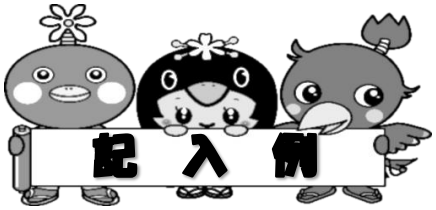
F A 0 3 1 1

令和〇年分収支内訳書(農業所得用)



住所	那須烏山市大金240	業種名	水稲＋野菜
フリガナ	エイノウ タロウ	農園名	
氏名	営農 太郎	電話番号	0287-88-9999

事務所所在地 / 依頼税理士

令和 年 月 日提出

令和〇 番号

(自 月 日 至 月 日)

直売所手数料はここに計上

「収入金額の明細」
①～③の金額を順に記載

			金額
金額	収入金額	1	2,751,400
	農業所得消費税額	2	412,500
	小計(1+2+3)	4	3,454,200
	農産物の棚卸高 期首	5	0
	農産物の棚卸高 期末	6	0
	計(4-5+6)	7	3,454,200
経費	雇人費	8	950,900
	小作料・賃借料	9	999,300
	減価償却費	10	238,333
	貸倒金	11	0
	利子割引料	12	0
	その他の経費 租税公課	イ	717,400
	その他の経費 種苗費	ロ	840,000
	その他の経費 素畜費	ハ	0
	その他の経費 肥料費	ニ	1,280,000
	その他の経費 飼料費	ホ	0
	その他の経費 農具費	ヘ	926,000
	その他の経費 農薬衛生費	ト	1,603,000
	その他の経費 諸材料費	チ	604,000

			金額
その他の経費	修繕費	リ	841,000
	動力光熱費	ヌ	1,403,999
	作業用衣料費	ル	150,000
	農業共済掛金	ヲ	240,000
	荷造運賃手数料	ワ	1,500,000
	土地改良費	カ	2,563,000
	購買代金	ヨ	203,811
		タ	0
		レ	0
		ソ	0
	雑費	ツ	338,000
	農産物以外の棚卸高 期首	ネ	0
	農産物以外の棚卸高 期末	ナ	0
	経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	ラ	0
	小計(イ～ネまでの計－ナ～ラ)	13	13,210,200
	経費計(8～12までの計+13)	14	17,551,833
	専従者控除前の所得金額(7-14)	15	16,990,177
	専従者控除	16	0
	所得金額(15-16)	17	16,990,177
	17のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額		0

水利組合費・塩那台等賦課金はここに計上

航空防除費はここに計上

○雇人費の内訳 (⑧の内訳)

氏名・住所又は作業名	日数	現金 現物	合計	源泉徴収税額
田野倉一郎 田野倉100-10 田植え	5	30,000	30,000	0
農業公社 藤田1262 刈り取り	5	65,900	65,900	0
その他(人分)				
計	10	95,900	⑧ 95,900	0

※家族は不可

○小作料・賃借料の内訳 (⑨の内訳)

支払先の住所・氏名	小作料、賃耕料等の別	面積・数量	支払額
大金999－10 田野倉二郎	小作料	20a	37,000
ライスセンター利用料	賃借料	2,500kg	62,930

○事業専従者の氏名等 (⑯の内訳)

氏名	(年齢)	続柄	従事月数
	歳		
	歳		
	歳		
	歳		
		延べ従事月数	

専従者給与を支払った場合のみ記入する

○収入金額の明細

農産物等の種類	品名等	作付面積（飼育頭羽数）	販売金額	家事消費金額	農産物の棚卸高 期首 数量	期首 金額	期末 数量	期末 金額
田		アール						
	水稲	100	1,085,000	387,500	0	0	0	0
	ナス	20	563,400	0				
	他野菜	10	251,000	25,000	0	0	0	0
畑								
A	小計	130	1,899,400	412,500		0		0

農産物等の種類	品名等	作付面積（飼育頭羽数）	販売金額	家事消費金額	農産物の棚卸高 期首 数量	期首 金額	期末 数量	期末 金額
特殊	トマト	5	852,000	0	0	0	0	0
計		5	852,000	0		0		0
計		135	2,751,400	412,500		⑤ 0		⑥ 0
畜産物その他								
C	小計		0	0				
合計 (A+B+C)			2,751,400	412,500				

例：家事消費（20袋）+縁故米（30袋）
その年の販売価格が7,750円だった場合
⇒50袋×7,750円=387,500円

※生産者販売価格で収入金額を算出してくださ

JA分等

JA分等

JA分+直売所分等

JA分+直売所分等

野菜家事消費は、
生産者販売価格で収入金額を
算出してください。

販売をしている場合は、ほとんどの方
があるはずなので、記入すること。

① ②

雑収入の内訳 区分	金額	
各種米精算金＋水稲無事戻し金	235,400	□
補助金＋補填金＋交付金等	46,400	☆
作業受託手数料＋その他	8,500	※
合計 ③	290,300	

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等（繰延資産を含む）	面積又は数量	取得（成熟）年月	イ 取得価額（償却保証額）	ロ 償却の基礎になる金額	償却方法	耐用年数	償却率又は改定償却率	ニ 本年中の償却期間	別	本年分の償却費合計（ホ＋ヘ）	チ 事業専用割合	リ 本年分の必要経費算入額（ト×チ）	ヌ 未償却残高（期末残高）	摘要
トラクター	1	R０．４	2,500,000	2,500,000	定額	7	0.143	8/12		238,333	100	238,333	2,261,667	
								/12		0		0		
													0	
										0		0		
計												238,333	2,261,667	

新規購入の場合、
購入月から
数えて８ヶ月分

新規取得したものや、所有状況に変更の生じたものがある場合に記載してください。
前年通りの場合は何も記入しないで結構です。
※税務署で申告する際は、過去に取得したものも全て計上する必要があるのでご注意ください

償却の基礎となる金額について
○平成19年3月31日以前に取得した減価償却資産は、イの取得価格に0.9を乗じた金額となります。
○平成19年4月 1日以後に取得した減価償却資産は、イの取得価格の金額となります。
○ただし、一括償却の場合は乗じません。

農業で使用する割合
例：軽トラックを農業と私生活で半々で使用している場合５０と記載します。
農業専用であれば１００と記載します。

⑩

(注)平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみイ欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算(販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	イ			ヲ				チ 翌年への繰越額（イ＋ヘ－ト）	
									0	
									0	
計										